

さて、地域福祉は社会福祉・社会保障の一環であると同時にまちづくりの一環でもある。住民の主体的な参加と自治にねざした、学習を基盤に暮らしの実態、住民の願いにあった（理にかなった）活動が発展することで、誰もがすみよいまちづくりの実践は前進する。しかし、このような活動を進めるには条件の整備と、それを進める主体的な動機が欠かせない。今回調査では何らかの活動に参加している割合が高いのは「経営者層」「ホワイトカラー層」「自営業者層」であったが、ボランティア活動やNPOなどの活動に関してはほぼ全ての階層で2割程度の世帯が参加しているなど活動の広がりは見られる。一方、「くらしや健康に関する自主的な学習会」は「経営者層」「ブルーカラー層」以外の階層で3%程度の参加であり、今後の課題と考えられる。さらに、最も参加の多い「町内会・自治会」の活動については、身近なくらしの課題に取り組む必要性や民生委員など福祉に関わる活動との協力・連携が必要とする回答が2割弱であるが、日常的な対話や交流、くらしや福祉について懇談する機会などは、ふれあい委員や町内会・自治会、民生児童委員の連携なくしては実現できない活動内容である。

一方、このような活動を進めるためには、身近な地域に気軽に集まる場や利用できる施設の整備が欠かせない。南丹市ではほとんどの地域に公民館や自治会館が整備され、活用されている。しかし、それら条件を活用するためのアドバイスをする職員の養成や配置は進んでいない。拠点や施設などは住民が気軽に使える場所や空間があることは重要であるが、そこで活動をすすめるためには、専門職員が必要なのである。今回調査でも条件の整備に関しては、「くらしに関する学習会など」に参加している世帯から、障害があっても高齢であっても、子どもであっても気軽に利用できる施設の整備とともに、専門職が必要とする回答の割合が高かった。住民が望む身近な地域での住民の活動は、条件の整備が整うことでいっそう進むのである。

Ⅲ. 資料

問3 一緒にくらししている人の中で、病気や障害、高齢のためになんらかの介護を要する人はいますか。

イ) 介護の必要な人の有無

1. いない
2. 同居している
3. 入院している
4. 施設に入所している
5. 近所に住んでいる
6. その他 ()

2~6の場
口

ロ) それはどなたですか。

(生計中心者からみた続柄であてはまる人すべてに○印をしてください。)

1. 生計中心者
2. 配偶者
3. 未婚の子ども
4. 結婚している子ども
5. 子どもの配偶者
6. 父親
7. 母親
8. きょうだい
9. 孫
10. その他 ()

ハ) 介護を担っておられる中心的な人はどなたですか。(生計中心者からみた続柄でお答えください。)

1. 生計中心者
2. 配偶者
3. 未婚の子ども
4. 結婚している子ども
5. 子どもの配偶者
6. 父親
7. 母親
8. きょうだい
9. 孫
10. その他 ()

問4 おたくでは、日頃くらしや福祉・医療の面で困りごとや心配だと思っていることがありますか。

1. ない
2. ある

具体的には (あてはまるものすべてに○印をつけてください。)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 3. 生計中心者の病気・事故 | 22. 借金・ローンの返済 |
| 4. 家族の病気・事故 | 23. 食生活のこと |
| 5. 安心してかかれる医療機関が近くにない | 24. 炊事・洗濯・掃除などの家事 |
| 6. 医療費が高い | 25. 収入が不安定 |
| 7. 入院費用がかかる | 26. 年金が少ない |
| 8. 通院が困難 | 27. 家計の赤字 |
| 9. 病人や老人・障害者の介護 | 28. 貯金ができない |
| 10. 働き手の死亡 | 29. 税金が高い |
| 11. 労働時間が長い | 30. 保険料(税)が高い |
| 12. 通勤に時間がかかる | 31. 物価が高い |
| 13. 自由な時間や休日が少ない | 32. 近所づきあいがむずかしい |
| 14. 賃金、事業収入が低い | 33. 地域での共同作業に出るのがむずかしい |
| 15. 失業や事業の不振 | 34. 相談相手がいない |
| 16. 就職が困難 | 35. 家庭での対話が少ない |
| 17. 仕事の後継者がいない | 36. 結婚がむずかしい |
| 18. 子育てのこと | 37. 老後のこと |
| 19. 子どもの教育・進学 | 38. 災害時の備え |
| 20. 子どもの通学・通園 | 39. その他 () |
| 21. 住まいのこと | |

問5 日頃、くらしや医療・福祉のことで相談する相手はどなたですか。

1. 相談できる人が身近にいない
2. いる

具体的には (あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 3. 配偶者 | 14. 職場の上司、同僚 |
| 4. 親 | 15. 市役所・支所の職員 |
| 5. きょうだい | 16. 議員 |
| 6. 同居の子ども | 17. 保健師 |
| 7. 同居していない子ども | 18. 保育所など社会福祉施設の職員 |
| 8. 親せき | 19. 社会福祉協議会の職員 |
| 9. 知人・友人 | 20. ケアマネジャー |
| 10. 近所の人 | 21. ホームヘルパー |
| 11. 自治会の役員・区長 | 22. かかりつけの医者 |
| 12. 民生・児童委員 | 23. 学校の先生 |
| 13. ふれあい委員 | 24. その他 () |

問6 くらしや健康、福祉にかかわる相談窓口や機関・施設で、知っているものに○印を、また、実際に利用したことがあるものには◎印をつけて下さい。

(あてはまるものすべてに○、◎印をつけて下さい。)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 市役所・支所 | 2. 南丹市福祉事務所 |
| 3. 南丹保健所 | 4. 京都児童相談所 |
| 5. 保健福祉センター | 6. 子育てすこやかセンター |
| 7. 南丹市子育て発達支援センター | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. 病院・診療所 |
| 11. 老人福祉施設 | 12. デイサービスセンター |
| 13. 老人福祉センター | 14. 南丹市福祉シルバー人材センター |
| 15. 保育所 | 16. 学童保育(クラブ) |
| 17. 障害児・者の施設 | 18. 幼稚園 |
| 19. 園部総合労働相談コーナー(ハローワーク) | 20. 民生・児童委員 |
| 21. 地域振興会 | 22. その他 () |
| 23. 知っているものがない | |

○と◎があります。

問7 生計中心者のお仕事はつぎのどれにあてはまりますか。それぞれあてはまるものにひとつ○印をつけてください。

- 1. 働いている 2. 働いていない(2.の場合は、ハにお答え下さい。)
- イ) 生計中心者の仕事について、あてはまるものに○印をつけてください。
1. 主として家族でやっている自営業
 - ↳ ア. 林業 イ. 建設業 ウ. サービス業 エ. 製造業
オ. 運送業 カ. 農業 ク. 小売・商業 キ. その他()
 2. 他人を3人以上雇って事業を営んでいる
 3. 部長以上の管理職(規模300人以上)
 4. 公務員や専門技術職(下記のア、イ、ウのいずれかに○)
 - ↳ ア. 事務系の公務員 イ. 現業系の公務員
ウ. 専門・技術職(具体的には)
 5. 規模30人以上の事業所に常勤で雇われている(下記のア、イいずれかに○)
 - ↳ ア. 事務職・営業職 イ. 現場・労務職
 6. 規模30人未満の事業所に雇われている
 7. 商業・サービス関係に雇われている
 8. 運転手や職人
 9. 臨時・日雇い・派遣・嘱託など(下記のア、イ、ウ、エのいずれかに○)
 - ↳ ア. 契約・派遣・嘱託 イ. 臨時・日雇
ウ. パート・アルバイト エ. 内職
 10. その他(具体的には)
- ロ) 生計中心者の勤務先はどこですか。
1. 自宅 2. 市内(日吉・園部・八木・美山) 3. 亀岡市
 4. 京都市 5. 高槻市 6. 綾部市 7. 大阪市
 8. 長岡京市 9. 京丹波町 10. 篠山市 11. 福知山市
 12. 大阪府() 13. 京都府()
 14. 福井県 15. その他()

ハ) 現在、生計中心者が働いていない場合の理由をおたずねします。←

(あてはまるものすべてに○印をして下さい。)

1. 病気・けが 2. 障害 3. 老齢 4. 定年 5. 失業
6. 家事 7. 介護 8. 育児 9. その他()

二) 生計中心者が加入されている健康保険の種類は何ですか。あてはまるものに○をしてください。

1. 国民健康保険
2. 共済組合・組管掌保険(本人) 3. 共済組合・組管掌保険(家族)
4. 協会健康保険(本人) 5. 協会健康保険(家族)
6. 日雇健康保険 7. 後期高齢者医療(75歳以上)
8. 医療扶助(生活保護) 9. その他()

問8 一緒にくらしている人のお仕事についておたずねします。働いている人すべてに○印をつけて下さい。(生計中心者からみた続柄でお答え下さい。)

1. 配偶者 2. 未婚の子ども 3. 結婚している子ども
4. 子どもの配偶者 5. 父親 6. 母親 7. きょうだい
8. 孫 9. その他()

問9 おたくの収入源は何ですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)

1. 生計中心者の仕事による収入 8. 生活保護
2. その他の同居家族の仕事による収入 9. 地代・家賃
3. 厚生年金や恩給・共済組合の年金 10. 利子・配当
4. 国民年金 11. 預貯金
5. 失業給付 12. 仕送り
6. 子ども手当・児童扶養手当 13. その他()
7. 特別児童扶養手当・特別障害者手当等

問10 (実際に家計をあずかっている人におたずねします。)毎月のくらしのなかで、支出がかさむものがありますか。

1. ない
2. ある
 - ↳ 具体的には(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)
 - 3. 主食費 14. 民間の生命保険などの掛け金
 - 4. 副食費 15. 消費税
 - 5. 外食費 16. 所得税や事業税などの税金
 - 6. 水道代 17. 交通費・タクシー代
 - 7. 光熱費 18. 電話代・通信費
 - 8. 家賃 19. ガソリン代・車の維持費
 - 9. 住宅ローン 20. 交際費(冠婚葬祭含む)
 - 10. 住宅ローン以外のローンや借金 21. 医者・薬代
 - 11. 子どもの養育費 22. 看護・介護のための費用
 - 12. 教育費 23. 酒・タバコ代
 - 13. 公的年金や医療保険・介護保険の保険料 24. その他()

問11 (実際に家計をあずかっている人におたずねします。) 毎月のくらしのなかで、支出を切りつめているものがありますか。

1. ない
2. ある

↳ 具体的には (あてはまるものすべてに○印をつけてください。)

- | | |
|---------------|------------------|
| 3. 主食費 | 12. 娯楽費 |
| 4. 副食費 | 13. 交際費 (冠婚葬祭含む) |
| 5. 外食費 | 14. 旅行費 |
| 6. 水道代 | 15. 貯金 |
| 7. 光熱費 | 16. 医者・薬代 |
| 8. 衣服・身のまわり品代 | 17. 看護・介護のための費用 |
| 9. 家具・家庭用品代 | 18. 交通費・タクシー代 |
| 10. こづかい | 19. 電話代・通信費 |
| 11. 酒・タバコ代 | 20. ガソリン代・車の維持費 |
| | 21. その他 () |

問12 現在の住まいはつぎのうちどれにあてはまりますか。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 一戸建ての持ち家 | 5. 民間アパート |
| 2. 分譲のマンション・棟続きの持ち家 | 6. 社宅・寮 |
| 3. 公営・公団の賃貸住宅 | 7. その他 () |
| 4. 一戸建ての民間借家・賃貸マンション | |

問13 現在のところには、いつ頃からお住まいですか。

1. 親 (あるいはその前) の代から
2. 現在の生計中心者の代になってから (イ、ロにお答えください)

↳ イ) 居住期間はどれくらいですか

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上15年未満 | 5. 15年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

↳ ロ) 前住地 (直近) はどこですか

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 南丹市内 | 2. 京都府内 () |
| 3. 大阪府内 () | 4. 他府県 () |

問14 日頃、となり近所とどのようなつきあいをしておられますか。

1. ほとんどつきあっていない
2. あいさつをする程度
3. くらしのことで話しあったり助けあったりしている

↳ 具体的には (あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

4. 困りごとや悩みを相談し合う
5. 家にあがりこんでのつきあいをしている
6. 留守を頼む
7. お年寄りの話し相手
8. お年寄り・子どもの世話を頼む
9. 自分の家で作ったものをわけあう
10. 買い物を引き受ける
11. 緊急時の連絡や援助
12. その他 ()

問15 おたく (生計中心者とその家族) では、どのような地域活動・学習会活動に参加されていますか。

イ) 参加の有無とその内容

1. 参加している
2. 参加していない

↳ 具体的には (あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 3. 町内会・区会・自治会 | 12. 生活協同組合 |
| 4. 老人クラブ | 13. 農業協同組合 |
| 5. 女性会・婦人会 | 14. PTA活動 |
| 6. 子ども会 | 15. 消費者保護の活動 |
| 7. 消防団 | 16. くらしや健康に関する自主的な学習会 |
| 8. 人権擁護の活動 | 17. 環境保護の活動 1 |
| 9. 地域のスポーツ活動 | 18. まちづくりやむらおこしの活動 |
| 10. 業者団体の活動 | 19. 趣味・娯楽の集まり |
| 11. ボランティア活動 | 20. NPOの活動 () |
| | 21. その他 () |

↳ ロ) ボランティアやNPOの活動に参加しているとお答えいただいた方におたずねします。主な活動の拠点はどこですか。(あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 公民館 | 8. 中学校 |
| 2. 小学校 | 9. 保育園 |
| 3. 老人福祉センター | 10. 町民センター |
| 4. 市役所・支所 | 11. 勤労者福祉会館 |
| 5. コミュニティーセンター | 12. その他 () |
| 6. 集会所・自治振興会館 | 13. 決まっていない |
| 7. 図書館 | 14. 活動の拠点がな |

↳ ハ) ボランティアやNPOの活動に参加しているとお答えいただいた方におたずねします。活動のなかで日頃感じていることや困っていること、悩んでいることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

1. 実際に活動している人が少ない
2. 若い人の参加が少ない
3. 活動に参加した人が長続きしない
4. 活動をしているグループ内の人間関係が難しい
5. 団体やグループの世話をしてくれる人やリーダーが不足
6. 身近なところで活動できる施設や拠点が少ない
7. 交通費や活動費の確保が困難
8. 活動についての情報が少ない
9. 研修・訓練や学習の機会が少ない
10. 他の団体やグループと交流する機会が少ない
11. 住民の取り組みだけではどうすることもできない問題が多い
12. 住民に頼りすぎている
13. いつまで活動が続けられるか自分の健康が心配
14. その他(具体的には)
15. 特にな

問16 日頃、地域で集まったり話し合ったりする場所についておたずねします。

イ) 日頃から集まったり話し合ったりする場所はどこですか。

(あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

1. ある 2. ない 3. 集まりに参加していないので利用していない

- | | |
|----------------|-------------|
| ↳1. 公民館 | 7. 図書館 |
| 2. 小学校 | 8. 中学校 |
| 3. 老人福祉センター | 9. 保育園 |
| 4. 市役所・支所 | 10. 町民センター |
| 5. コミュニティーセンター | 11. 勤労者福祉会館 |
| 6. 集会所・自治振興会館 | 12. その他 () |

ロ) 主に利用している場所について不便を感じたことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 利用の手続きがめんどう | 10. 調理できる設備が不備である |
| 2. 利用できる時間帯が合わない | 11. 駐車場がない・狭い・遠い |
| 3. 利用の目的が限られている | 12. 冷暖房の設備が不十分 |
| 4. 利用料が高い | 13. 相談できる職員や管理者がいない |
| 5. 他の行事や活動があると利用できない | 14. 車イスで利用しにくい |
| 6. トイレが使いにくい・少ない | 15. 階段が大変 |
| 7. コピーや印刷できる設備がない | 16. 掃除や管理がめんどう |
| 8. 資料などを保管する場所がない | 17. その他 () |
| 9. 集会室が少ない、狭い | 18. 特にない |

問17 身近な地域の中で、何とかしなければならぬと思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。)

1. ぐらしや福祉のことで気軽に相談できる窓口が少ない
2. ぐらしや福祉のことで相談できる窓口が減って困った
3. ぐらしや医療・福祉のことで利用できる機関・施設が少ない
4. ぐらしや医療・福祉のことでいつでも相談できる専門職員が少ない
5. 役所や保健所などぐらしにかかわる施設が遠くて不便
6. いつでも診てくれる医療機関が身近に少ない
7. 医師や看護師・保健師などの医療従事者が少ない
8. 往診をしてくれる医療機関が身近にない
9. 救急・休日・夜間の医療体制が不十分
10. ぐらしに困っている世帯のこと
11. 働けなくなった高齢者のこと
12. ひとり暮らしの高齢者のこと
13. 寝たきりや病気・認知症など的高齢者をかかえている世帯のこと
14. お年寄りが安心して気軽に利用できるサービスが少ない
15. 特別養護老人ホームや老人保健施設ない
16. 障害児・者をかかえている世帯のこと
17. 障害児や障害のある人のための施設がない
18. 母子・父子世帯のこと
19. 子育ての不安をかかえている世帯のこと

20. 子どもの非行・いじめ
21. 子どもがいない・少ない
22. 子どもの遊び場や公園、スポーツをする場所が少ない
23. 保育所、学校が減った
24. 保育所や学校が遠い
25. いつでも気軽に利用できる会議室・集会所がない
26. 公共施設がどこにあるかわからない
27. 住民相互のまとまりや助け合いが乏しい
28. 自治会や地域団体の役員のなり手が少ない
29. ぐらしや健康・福祉に関する学習会が少ない
30. 若い人と高齢者との世代間交流が乏しい
31. 交通が不便
32. 高齢者や障害者が安心して利用できる交通機関が少ない
33. 買い物が不便
34. 誰でも安心して往き来できる歩道がない
35. 路上駐車が多い
36. 騒音が激しい
37. 交通事故が多い
38. 道路が狭い
39. 夜道が暗い・街灯がない
40. ごみの処理・不法投棄
41. 公害・河川の汚染
42. 乱開発の防止
43. 鳥獣による被害
44. 山林農地の荒廃
45. 地元の産業の振興
46. 地元で働き口やしごとが少ない
47. 物価が高い
48. その他(具体的には)
49. 特にない

問18 お住まいの地域に今後も住みつづけたいですか。

1. ずっと住み続けたい

理由 []

2. 引っ越したい → ① 市内 ② 市外 ③ 府外 ④ 決めていない

理由 []

3. わからない

理由 []

4. その他

(具体的には)

問19 お互いに力を合わせて、安心して暮らせるまちづくり（地域福祉活動）をすすめる上で必要だと思っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。）

1. 住民相互の日常的な対話・交流を広げる
2. 高齢者や障害者と子ども・若い人たちとの交流を広げる
3. 自治会などで住民の身近な暮らしや健康、安全・防犯などの問題に取り組む
4. 身近な地域で住民の暮らしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす
5. 地域で取り組まれている活動の交流や学習会を開催する
6. 民生委員とボランティア、ふれあい委員との協力・連携を広げる
7. ボランティア活動・地域福祉活動への参加者をもっと増やす
8. 行政の施策を分かりやすく住民に知らせる
9. 暮らし・健康や福祉にかかわる職員と住民が交流・学習できる機会をつくる
10. ボランティア活動や地域福祉活動のことで相談できる専門職を増やす
11. 身近な地域に障害者や子ども、高齢者などがいつでも利用できる施設を整備する
12. ボランティア活動や地域福祉活動の拠点を整備する
13. 地域で自主的に行われている福祉活動を支援する
（具体的には _____ ）
14. 公務員や社協の職員が、住んでいる地域で福祉活動やボランティア活動に積極的に参加する
15. その他（具体的には _____ ）
16. 特になし

問20 この調査や、国や行政、社協などに対する要望、あるいは期待することなどのご意見をお聞かせ下さい。

ご協力ありがとうございました。

◆お問い合わせ先：社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

（本所）TEL 0771-72-3220

（園部）TEL 0771-62-4125 （八木）TEL 0771-42-5480

（日吉）TEL 0771-72-0947 （美山）TEL 0771-75-0020

南丹市におけるくらしの実態と地域福祉の課題

— 生活実態調査報告書 —

平成24年（2012）4月

発行：南丹市社会福祉協議会

〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地

TEL：0771-72-3220/FAX：0771-72-3222

編集：志藤修史（大谷大学）

連絡先：大谷大学志藤研究室

〒603-8143 京都市北区小山上総町

TEL：075-411-8137（研究室）